

昭和35年12月20日第3種郵便物認可
発行所
〒104-0045 東京都中央区築地5-2-1
東京都中央卸売市場内
株式会社 日刊食料新聞
電話(直通) 東京03(3541)7250(代)
市場代表 03(3542)1111 内線6911~6914
FAX 03(3541)7703
郵便振替口座 00170-3-57413

日刊食料新聞

青果・花き版

THE NIKKAN-SHOKURYO SHIMBUN

<http://www.nikkan-s.co.jp/>

平成17年 2005年

12月16日

【金曜日】

© 日刊食料新聞 2005年

日刊(土日・祭日・休市日休刊)

第14949号



実証試験の対象となったラ・フランス

農薬ナビで流通実証試験 金港・水信などがラ・フランスで

「農薬ナビを活用した農薬使用リスク管理システム」の流通段階での実証試験が13日から横浜で始まった。

同システムは、農薬使用適正ナビゲーション研究会(町田武美会長)が今年度の農水省「ヒキタス食の安全・安心システム開発事業」のひとつとして取り組んでいるもの。

9月末から10月にかけて

JAてんどうから12日に

出荷されたラ・フランスは、同日深夜に横浜本場の金港青果へ入荷、翌13日の早朝に仲卸・水信商店を経由して、同日午前中に横浜シールの横浜水信の店舗に入荷した。実証試験は19日まで行ない、(情報公開は25日まで、対象品目は1日8箱(6パック入り)を取

り扱う。JAで1箱ごとにICタグを貼り、1パックずつコード番号(ベジトレースコードとSEICAコードの2種)をつけた。入出荷日時はJA、卸、仲卸、小売の各段階でICタグをハンディターミナルで読み取ることで、情報がセンターに送信され情報管理

ができる。消費者はパックに記載されているベジトレースコードをベジトレースのHP(<http://mlv-trace.com/>)で入力することで栽培履歴や出荷日、生産者、卸、仲卸、小売の各段階の人々の情報が得られる。パックごとに実証試験の内容が分

かるチラシを入れ、消費者には出荷日を知ること、ラ・フランスの食べ頃が分かることを告知した。実証試験を行った横浜水信の竹内幸英常務は「消費者は安全・安心の点から顔の見える商品求めているが、ただ売場に置くだけでは認知されない。生産者が来て食べさせるなどのキャンペーンを行う必要があるのではないか」と見ており、「POSシステムと連動できれば理想的だ」と要望している。

て、産地である山形県のJAてんどうで、ラ・フランスを対象に農薬ナビを活用した実証試験を行ない、生産者から高い評価を得た。今回は農薬ナビシステムに既存のトレーサビリティシステム「ベジトレース」を連携させることで、栽培履歴に加えて入出荷日時など流通履歴を確認できるシステムを構築した。

JAてんどうから12日に